

風景街道の 魅力づくりを通して まちづくり、 ひとづくりを展開

■ ルート名：北九州おもてなしの
“ゆっくりかいどう”
井上 智明さん



北九州風景街道(長崎街道)推進協議会 現会長
長崎街道を愛する会 現会長

井上 智明さん

◆ 特徴的な活動

「美しい景観づくり」

- ・まち歩き

「活力ある地域づくり」

- ・地域活性の指導、
地域づくり
- ・イベント企画・開催
- ・人材育成

活動内容

北九州おもてなしの「ゆっくりかいどう」を推進するため、街道をテーマにした歌づくりやイベントを開催している。イベント開催時には、ご当地弁当、コーヒーのお土産づくりなど訪れた方へのおもてなしなど、優れたアイデアや実行力で活動を牽引する。

井上智明氏自らの団体「長崎街道を愛する会」だけではなく、新たなまちづくり団体の設立や活動について助言を行うなど、団体以外での技術の伝承や実務関係者の育成を広範囲に取り組み、九州風景街道の推進に向けて、2015年に九州風景街道マイスターに認定。

Scenic Byway Kyushu Meister

北九州おもてなしの「ゆっくりかいどう」
井上 智明さん



(上段) 門司港レトロ
(下段) 北九州風景街道子どもウォーキング

街道の魅力を体験するコンテンツ

九州風景街道「北九州おもてなしのゆっくりかいどう」の活動として街道の魅力を紹介する「風景街道 DAYS」を開催。歴史ある風景を感じるラリーやウォーキングツアー、知識を深める展示や講座など、工夫を凝らした様々なプログラムを提供している。



風景資源の魅力を共感し、後世に守り・伝える

「みらいへつなぐ北九州風景街道」をテーマに、北九州風景街道ルート沿線を中心とした作品を募集し、ルート沿線にある、風景・自然・歴史・文化等の地域資源の周知の為、「フォト&アートコンテスト」を開催。多くの方々と九州風景街道の活動に関するPRを積極的に展開している。



風景資源を後世に守り伝えていくため、人材育成にも注力している。具体には、小学生を対象とした「北九州風景街道子どもウォーキング」を開催し、道を通して歴史や文化、自然について学ぶ機会をつくっている。イベントでは、参加した子ども達と北九州風景街道の協議会メンバーが一緒に、街道沿線を歩きながら、風景の魅力や後世に守り伝えるべき

ポイントを意見交換するなど、将来の活動を担う人材を育成している。

また、「門司港さんぽみち調査隊」と題して、門司港エリアを歩きながら、近隣施設にも立ち寄り、楽しく歴史や風景、文化を学ぶウォーキングを開催。

協議会会員相互の交流と連携にも注力

協議会会員間の交流推進や情報共有等を目的として、日々の活動や推進協議会の取り組みを紹介した「かわらばん」を年1回発行。最新の活動内容を共有し、会員間の交流や連携を促進することで風景街道活動の活性を図っている。

